（十一日夕刊）

磐城新聞

休刊日 大祭第一第三日曜日
定價（壹枚二錢 一ヶ月五十錢 郵稅拾錢）
廣告料（雜報欄一行五十錢増 場所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所 磐城新聞社
電話五六番

性教育の一般化

磐女校長　櫻井賢文氏談

眞の女子教育は先づ性教育より、といふ言葉が近來頓に喚起されて來ましたことは洵に歡ばしい傾向で、尤も女子のみの問題に止まらないことは言ふ俟ちません、此の問題を惹起せしめた前提も見られるやうに、所謂廢娼問題があります、私娼撲滅問題があります、これに對して或る者は近代資本主義經濟組織の犧牲であると言ひ、或る者は單に貞操觀念の薄弱な爲めであるとも言つてをりますが、由來わが國民は餘りに性問題を隱し過ぎて來たと言はねばなりません、故に當然おこるべき性病に對し、如何に羞恥を感じて來たかといふよりも一概に性病即ち羞恥といふ觀念を根強くも植ゑつけられて來たのであります、言ひ換へると性病に關しては餘りに無智であり過ぎたので、その證據として性病患者の多數なことは世界的比率に徵しても明かであります、殊に良家の婦女が性的疾患の爲め暗い一生を送らなければならないといふのも、一に性的無智なるが故と言はねばなりません、前述の公娼問題にしましても、性教育が發達しさへすれば自と解決されるのであつて、唯矢鱈に表面的制度を責めたてて、その根抵に於て指示善導する何者をも與へないとしたら、却て反動的惡弊のみが遺されるに相違ないでせう、之に對しては歷史が明かに證據立ててゐることは繰返すまでもなくたゞ自然淘汰を待つより策は無いので即ち壓するのでなく、拔き取るのでなく、進んで殼を破り進んで脫出するやうな方策を講じなければ、恐らくは何れの制度が布かれ何れの理想的社會が現出するとも到底不可能なことであるのです、然らば如何にすれば宜しいか？即ち性教育を一般化し性的自覺を培ふことによつて始めて完全を期し得るのであります、從つて文字通り一人前の人間にならうとする者（特に女子）に對しては、先づ性的羞恥觀念を一掃さすと同時に眞の意味の理解を與へ、讀み書き計算同等の重要さを以て教育せねばならないのであります、それには何うしても家庭の力と教育當局者の力とが兩立せなければなりません、此の意味に於て。一時も早く教育制度の一部を革新せなければならないので、尠くとも世の指導者の立場に在る識者は、擧つてその制度方法を講究指示されんことを熱望して止まないのであります、同時に一般父兄に對しても此點を十二分に留意して進んで性的無智から脫出するやう努められんことを切望して止まないのであります、これこそ一子女のみを救ふばかりでなく國家そのものを隆盛ならしむる源に他ならないのであります。（文責記者）

明日の吉凶
舊曆四月十二日
新曆五月十二日

▲一白 外に出て辛勞するより內に在るが利得の日▲二黑 行違ひ爭ひの生じ易き日普請旅行何れも凶▲三碧 辛抱甲斐の現れ來る日名ひろめ開店慶儀皆吉▲四綠 諸事順調に進む但し外に在りては失物注意▲五黃 聲のみ大にして實形の見止め難き日萬注意▲六白 種を蒔き置けば他日萬倍の收穫にとるべし▲七赤 午前は吉なれども午後は凶に走り易し注意▲八白 疑ひ深き時は好機を失することあり進取吉▲九紫 吉にも凶にも岐れ易き日常業を守るが安全

血で血を洗ふ

講談

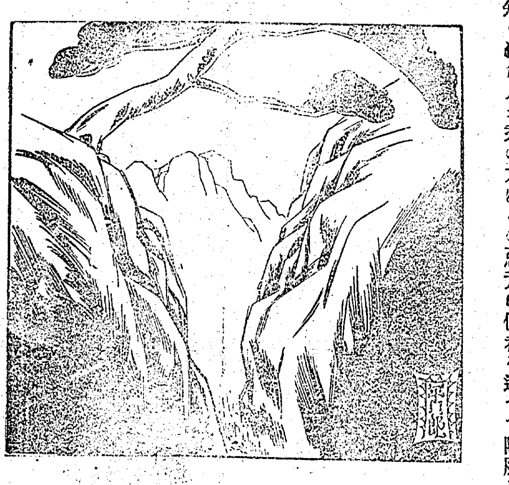
(32)

高橋掬太郎創作
布施八郎揮毫

意外の使者

成昌の許を訪れた使者それはお秀の方の父堀田忠元からの使者であつた

堀田忠元は中國の勇將と知られた人お秀の方はその二女であつた。勇忠元の使者が到着と聞いて成昌は直ちに表書院で引見した



「使者遠路を大儀であつた」

成昌は勞を慰めた

「麗しき御尊顏を拜し恐悅に存じまする、拙者は堀田家の臣常坂甚平と申しまする。以後お見知り置き下さらば有がたき幸せに存じまする」

使者常坂甚平は慇懃に挨拶を述べた。

「舅殿御健在か？」

「はッ御壯健にあらせられまする」

「して使者の趣きは？何んぞ大事の用事でもあつたか」

成昌は改めて問ふた

「は實は此の度主人堀田忠元殿は織田信長と戰端を開く事になりましてございます」

「ナニ信長と戰はれると…」

成昌は驚いて反問した

「はッ信長は羽柴筑前守秀吉を總大將に五萬の大軍を以て攻め寄せるとの風評でござりまする」

「うむ」

流石に成昌も顏色を變へた。

「就きましては秀吉の五萬の軍を恐れるにはござりませぬが敵は近來旭の昇るが如き勢ひの織田信長の擧ゆゑ次から次ぎと新手の軍を以て攻めかけられては到底勝つ見込みがございませぬので是非成昌殿の御助勢がお願ひ申したいとの儀にございまする、尙詳しき事はこれなる書狀に認めてございまする」

と取り出した忠元の書狀開いて見ると信長が此の度中國征伐の軍を起し第一に忠元に使者を送つて降服を勸めたが一戰もせずに降服したとあつては先祖代々の武門の名折れ武士の意氣地で戰かふ事になつた次第が記してあつたそして成昌を迎へて全軍の軍師になつて欲しいのであると依賴してあつた。

成昌は戰ひを好む人でなかつた。つとめて戰禍を避けてゐるのであつたが舅に當る忠元が敵に攻められると聞いては義理でも默つて居る譯には行かない。助勢を求めて來たくても此方から出掛けて行くのが當然なのであるから成昌は決心して答た。

「御使者の趣き、よく承知仕つた早速に出馬致すでござらう。當方の手のものは約五千甚だ小勢ではござるがこれだけにて御助勢申し上げるとお傳へが願ひたうござる」

「早速の御承知辱う存じまする成昌殿の御出馬さへあれば兵の數は問はぬとの主人の仰せでござりました」

使者の喜びは一通でなかつた。

「それは過分の御信頼、御期待に背くことゝ存ずるが兎に角全力を擧げて力添へを致すであらう」

成昌は微笑みながらかう云つて誓つた。

使者の云つた通り成昌さへ出馬してくれたなら五千や一萬の兵の數を問はなくてもよかつた。それ程成昌一人の智勇は信頼するに足るものであつた。

成昌は使者を別間に招じお秀の方に對面させたそして馳走をして歸へした。

使者が立ち歸へると直ちに成昌は軍を起す準備をした。上席家老神部淸左エ門は折柄病氣であつて軍に加はることが出來なかつたので成昌は副大將として石田忠兵エ吉行を任命し弟昌康に留守居を任せ早間重太夫も國元に殘すことにして總勢約五千小勢ながらも勇氣りん〳〵四園の草木もなびくばかりに出征した。

ところが敵將も一代の智者と謳はれた羽柴筑前守秀吉早くも堀田忠元が本間成昌を助勢に求めたことを探り知つて自ら一萬の軍勢にて途中に成昌の軍を喰ひ止めることになつた。

これが此の戰ひの勝敗の岐路であつた

廣告

御案内
新譜取揃ました
時代劇
映畵說明物等
新學期入學祝に
腕用時計を
勉强振を見て下さい

TRADE MARK
NIPPONOPHONE
會田時計店
電話三六三

醸造元
銘酒 清世界
各炭鑛御用達
石城小名濱町
清水屋
小野晉平
電話六番

平町紺屋町
吉田眼科医院

營業種目
內地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負　其他
佐藤材木店
常磐線平町 新川町
電話三三五番

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵
金物問屋
(久) 釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、
看護婦及び見習募集

鐵筋コンクリート
鐵骨組立
和洋建築
文化式建築
設計監督
土木、建築、請負業
合資會社
丸三森川組
社長 大森鎮平
東京日本橋南茅場町二〇
電話茅場町66四五二番

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

春の洋服
（弊店ノ主義トシテ）
着る身に成つて
仕立てます
海岸線平町
佐川洋服店
營業部（電四一八番）

ホシ胃腸藥
胃腸病藥
ホシ胃腸藥
星製胃腸藥
호시위장약

懇切迅速勉强は
—弊店のモットーであります—
磐城銀行御指定
ケーテー洋服店
平町材木町一
高野幸

蜂印香竄葡萄酒
ハチジルシコーザンワイン

御主人も……
奥さまも……
もちろん 御家庭みな樣の御健康のため ゼヒ……
蜂の一杯を 御食卓にお備へ下さい

近藤利兵衞商店

戰鬪力を失つた
坑夫組合の窮狀
入山から王城に遁れ
資金調達に苦心

湯本町入山炭礦の爭議事件は本紙屢報の如く坑夫組合の指揮する爭議團が長い爭議に捲怠を感じ剩へそれが爲め爭議團は極度に資金の窮迫を告げ各地の友誼團に請ひ辛ふじ掻き集める三俵四俵の糧米にては到底爭議團を完全に

養ふ事が出來ず、一家族一日米五合位を辛じて配給するに止まり妻子を顧みず爭議に暇を潰してゐる亭主の行動に愛惜つきた心ある女房連は夫婦別れを持ち出す等の悲喜劇も隨所に醸され、之れ等內輪の破綻から爭議團の氣勢極度に消沈し、殆むど戰鬪力を失つた現在のままでは强硬な會社に

對抗する能はずと見て取り坑夫組合幹部が謀議の上、軍備資金を捻出する手段とし本郡勿來町在王城炭礦に爭議を起し何程かの金一封をせしめ之れを以て入山爭議に最後の氣勢を上げんと昨十月坑夫組合から約五十名の爭議團が玉城炭礦に繰り込むだが既に白旗を揚げ掛けた坑夫組合を一擧に屠り之れ等不健全分子を根こそぎ絶やす擧は常盤炭礦界將來の安泰を堅めるものであると

積極的に出てゐる各炭礦の右傾團体は擧つて王城に後援すべくドシ〳〵繰り込みつつあれば坑夫組合が最後の此の謀策も醜い結末を告げるものの如く兎に角入山炭礦の爭議は既に一峠を越したものと見做し在山中の平山高等課長は昨十日歸福し警官隊も五十名位に半減する事となつた

猶は目鼻が付かぬ
幼兒絞殺犯人
各署に打電共力して
四倉署懸命努力

昨報磐越東線廣野久野濱間第五號トンネル北入口附近に捨てゝあつた竹行李詰めな兒の絞殺死體遺棄犯人に就ては近來奇怪な大事件として縣刑事課で特高課と連絡をとり四倉署を中心に沿線各警察署總出で搜査中だが犯人は勿論本縣の者でなく犯跡を晦さんが爲周到なる用意を重ねて遠く列車を利用して來たものらしく竹行李の中にも絞殺に使用した手拭一筋入つてゐるだけで手がゝりになるものはなく當局では竹行李と手拭一筋と男兒のメリンスの依類を證據に搜査してゐる被害男兒は相當家庭の兒らしく色白な可憐の兒だが既に腐爛して異臭を放つてゐる解剖の結果死後十時間位を經過してをり生後六ケ月位の女兒である

鎔鐵と砲
（投書歡迎）

惱める言分

若葉は惱ましい頃が來た、まだ少し黃味のおりさうなやはらかい肌色楓にすもゝに又春酣に甦つた。

仰ぐ梢から濃い綠色の傘が生々としたゝり落ちてそゞろ歩きの初着のセルを染るかとばかり初々しい諸々のつたかつらの萌ねた葉色は寄り添ふ木々に塗られた青苔の雨滴を得て染かへられたよりも麗しく薄暗き青葉の海サラ〳〵との陽に裏返しつつてりはゆる葉のさゝなみ。なやましきは戀人の小さき胸より出づるわれと抱擁の時のいきれの如き若葉のつゝましき呼吸、その青色はまだ硬い感觸を與へない。

わが戀人のかんばせの如き苺の可憐な白き花は土に散りて紅き唇に似た實つた草苺、初夏は隣まで歩み寄つて來た、灼熱の太の陽に火焰に燒けたゞれた女の髮のやうなもろこしの實の穗房、頭に鋼鐵のいばらの冠をかぶつた重き頭腦にいらつく眼を直射する眞夏の太陽も徐ろに赤道の位置を近付けて來た。

わが神經の衰弱も漸く深まつた、戀人の美しき顏もてなせるわが胸の烙印は日と共に成長し擴大しゆく夜每の妄想は逐ひども去らず削れどもにじめるしみは失はれず。あの毛髮濃く稍細おもての紅バラの花を白絹のベールに包んだやうな血色のよい顏の色、眼が心の窓なれば叡智にひらめくなつかしの瞳や穩かな月の眉、月の光りの如く濡らかに注ぐこまやけき愛そいから西洋の女のやうにタイプ良くすんなりと伸びた脚短き胴一もわが理想に反せざるなつかしの處女、わが戀人よいま一度わが戀人よ、若葉にうづもれたけふ此の頃に來りて見せよ、去年の今夜麓山の森は淺けれども、君が衣しやうの如き鶯色の地に青味の筋の月光がみづ〳〵しく若葉を透かして流れる蔭にてわれに何を囁けるや

（老ニキビ）

高久村長に
鈴木氏就任
村の爲め幸福だと
鈴木質銀支配人談

本郡高久村々長小野淺次氏は就任五期に及び村民の信望篤く將來を囑目されてゐたが病氣の爲め辭職するの止むなきに至り此程村會を開き助役本馬武氏より後任村長として鈴木喜太郎氏を推薦したるに滿場一致を以て當選就任した、同氏は芳醇佳好本郡の代表清酒として連年の石城清酒品評會に優等賞の榮冠を得た銘酒「小錦」の醸造本舗主にして現高久消防組頭であつて人格手腕兼備の人であるが同村議にして磐城質銀支配人鈴木源造氏は「新任鈴木村長は公私多端の人で或は迷惑であるかも知れぬが村民多數の懇望もだし難く就任を快諾された、本馬助役と並び人格、手腕の卓越した人で本村の爲め慶賀に對いない次第である」云々

昨年と大差のない
地方への肥料着荷
平驛扱所に現はれた
農家の經濟狀態

本郡下の農村では過般來の財界混亂時にさへさほどの影響を被つた氣配もなく頗る順調裡に終始してゐるが施肥期を迎へた昨今平驛貨物取扱所によつて肥料の輸入動態を見ると三月二百二十噸四月に二百八十五噸の數字で四月に入つて十一日までに六十五噸と言ふ數を示し昨年と大差ないが明十二日のモラトリアム明け以後は急激の勢で活況を呈するであらうと觀測されてゐる

平水道斷水
けふ田町の一部が、

中町三丁目と四丁目の境横町驛前通りの消火栓は試用中破損したので此れが修繕を要する爲め今十一日午後一時から午後三時までの二時間に亘り田町の一部は斷水した

預つた行李に
人骨の束
ビックリ仰天

平町字田町活版業高橋勝吉氏は數日前カフエー荒しで捕はれた齋藤榮治から一個のバスケットを保管を賴まれたので預かつてゐる中齋藤は窃盜、詐欺事件が發覺して平刑務所に收監されたのでバスケットにも盜んだ物でも入つてゐるのではあるまいかと開いて見ると人骨が入つてゐるのを發見し大に驚いて早速九日午前十一時頃平署に届けて來たがこの人骨は齋藤の親の遺骨を郷里を出る時に持つて來たもので刑務所內の同人に返還したが、齋藤は親の遺骨を持つて流れ歩き惡事を働いて居たものであると

農事講習會

神谷村農試分場では來る十五日午前九時から午後三時まで同場講話室に於いが農事講習會を開催する事となつたが同日の講演は「有利なる夏季蔬菜の栽培に就いて」で講師は小塙同場技手であると

先夫の遺兒を伴れて
小心な婿殿の家出
思ひあまつた女房が
平署へ泣き込む

好間村古河炭礦坑夫川崎喜三郎（三八）は數年前同炭礦の後山婦川崎シチ（三六）方に入夫しシチが前夫との仲に出來てた力八（十才）とシチの實母カツ（五七）との四人暮しを續けてゐたが夫婦共實直に稼ぎ相當の小金も出來る程豊かな暮向になつて來たが去五日午後三時頃喜三郎はシチの實母カツと些細の事から口論をなし小心な喜三郎は生さぬ仲の力八を連れ出し無斷で家出したが夫と伜に逃げられたシチは氣も狂んばかりに驚き八方に手分して行方を搜查してゐるが思ひあまつて今十一日午前十時頃平署に出頭搜查方を願出た

醜きを嘆き
青年自殺
小川の鐵道で

石城郡上小川村大字上小川初義弟草野靖志（一八）は九日午前十時三十六分同村地內磐越鐵道線路に於て下り列車に飛込み覺悟の自殺をなしたが同人は昨年十月中山働きをしてゐる中誤つて高所から墜落顏面に怪我をなしその結果自分の顏が醜くなつたため常に悲觀してゐたが前途をはかなんで自殺を爲したものであると

出獄してすぐ
荒し廻る男
平署に捕はる

茨城縣多賀郡生れ當時住所不定無職前科一犯神田一（三二）は窃盜罪で徵役一ケ年の刑を福島刑務所に服役過般出獄後花見時の平町で一働きをせんものと入込み松ケ岡公園、新川畔、新田町、鍛冶町等の人混の場所で前後數回に亘つて模掏を働きカフエー、バー等を荒し廻つて居たが平署に探知され十日午後九時頃南町附近を通行中平署員のため逮捕され目下嚴重な取調を受けてゐるが餘罪頗る多數に上る見込であると

三縣聯合庭球試合
來月五日平町に於て
各軍必死猛練習

平庭球俱樂部主催福島、茨城、宮城の三縣聯合庭球試合は來る六月五日午前八時より平商業並に九曜コートに於て開催する事となつたが優勝カップは日立會にあり何れも猛練習に熱中してゐるから當日の接戰は花々しきものがあろうと

鈴木豊間助役
全國大會から歸る

石城郡豊間村助役鈴木藤次郎氏は去る四月十二日より二日九州福岡市に開催した全國町村長會に出席會議終了後長崎、熊本、鹿兒島大分、別府等の産業を視察し十九日歸村したが同大會には地方稅制の改善を圖り特に町村財源の充實を期す外數項を決議し非常に緊張した會議であつたと

大入りの陪審
昨夜の講演會

平町役場主催陪審法講演會は昨十日午後六時から平劇場に於いて開會されたが定刻前既に千五百人の聽衆押掛け萬場立錐の餘地ない盛況で福島辯護士七星與市氏の陪審法の概念、司法省書記官吉田正武氏の陪審制度の本旨、大審院部長磯谷幸次郎氏の陪審裁判の話等あり外農業に對する數種の教育映畫及各國に於ける陪審裁判實寫の餘興あつて午後十時半散會した

主演 森野五郎——魔道

寢ざめ屋のお吟が手代夢吉を婿として迎へる結婚式の夜、突然躍り込んだ怪人がお吟を引攫つて姿を隱した、彼女を戀する鬼影平馬は怪人を追跡して遂に謎の家を發見し、お吟を救つたが彼女は平馬を戀しては居なかつた——日は流れた、純眞なお吟も今は淫蕩な女と變つた、或日偶然旅宿で夢吉と逢つたが彼もすさんだ博徒生活に入つて居た、目明しケツ鍋の五平太、怪人市川呂右衛門、役眼平馬等の活躍は愈々波瀾を極める。森野の夢吉、川田芳子のお吟——

磐東銀行社屋新築
敷地の買收も了して
近く工事に着手

石城郡植田町磐東銀行は最近業務の擴張と共に從來の社屋にては不便がちなため株主間の要求によつてこれが新築をなすべく過般工五萬餘圓を以て建築に決定したので敷地その他について調査買收中であつたが大体買收も協定出來たので近く請負者を協定した上直に着工するまでに進んでゐるが右につき專務取締役金成通氏は「銀行社屋の良否によつて銀行が隆盛になるとか業務不振になるとかといふことはないが何しろアノ通りの銀行のため株主間では甚だ貧弱だ体裁が惡いといふ批評を聞いてゐたのだが此前の總會には是非新築して今少し立派のものにしてほしいといふ樣な話になつたので新築を決したわけであるが更にこの新築によつて更生し大いに地方金融界のために貢獻したいと思つてゐる」云々

小鳥を飼つて
教化の資料
平第二校の試み

平第二小學校では特に德操の教育に留意してゐるが情操の陶冶と趣味の涵養並に理科學習の材料に資する目的で小鳥を飼育する計劃中のところこれを聞いた藤田裁縫女學校長藤田氏は兒童教育の爲めとして十姉妹二すがひを寄贈したと

公私往來

△中山（高等課長）入山爭議の爲め來山中十日歸福

△高岡唯一郎氏（元代議士）十一日午前九時來平即日歸郷

△草野順平氏（縣議）九日上京目下滯京中

△鈴木辰三郎氏（質銀專務）福島より上京今明中歸平の豫定

△小野務平氏（磐通社長）八日出福十一日夜歸町の豫定

△小野晉平氏（縣議）十一日朝九時泉發で上京

平町人事

△出生　平町田町四五鐵道局技手小川勇彌四女マサ子

▲死亡　平町杉平二〇春造妻神長倉ミツイ（三三）十日午前六時

劇と映畫

平劇場——日本少女歌劇團一行が今十一、二の兩日限り公演、初日童話歌劇「今樣浦島」中歌劇「自雷也」大史劇「勸進帳」新作フオリオスその他上演

平館——明日より母性愛大悲劇「忍び泣く親」全七卷市川市丸主演「鹽原多助」全十卷、河部五郎主演幕末亂鬪「日出る國の武士」全七卷其他で大好評

聚樂館——開演中の曾我廼家五一一行の大車輪で好評

かみえづ

◆新田町の竹乃家に移入された年增藝者は廿二歳の働ぎ盛りだが、見たところ上品なためかけイヤ奥樣風をしてゐる、いつれ曰く附きの代物らしい、腕前や藝のほどはわからないとして左の方は頗るいけさうだ、妾はタント飲めないのよ、と云ふ口の下から猪口を盛んに運んで一寸五本林立の光景は物凄い◆三島屋の呑ンべい藝者で賣つてゐる金助近ごろはエ、面倒臭いとばかり驅つけ三杯、それもビールのコップで、當節柄た客樣が災難だ、ところへ當八、菊助も負けぬ氣で雲を呼んで雨を降らすがごとく瀧のやうに浴び飲みと來てゐる、三島屋もイヤ呑助ばかり抱へたもサ、お蔭で白菊酒店が大助かり

時言

次に今度は王城炭礦、爭議資金を作る爲めの爭議に見舞はる、こんな奴輩の跳梁を、若し社會が是認するとしたら

□

あまり遠くもない將來に公認馬賊てなたぐいの集團が出來やしまいか、一山の興廢よりも、吾人は先づそれが怖ろしい

□

姑にいぢめられた婿どのが、厄介な先夫の遺兒を伴れて里に歸る、善良な婿の典型としておそらくは天下一品

映畫界を飾る名篇揃ひ
プログラム

※日活現代劇部特作
母性愛大悲劇　忍び泣く親　全七卷
浦邊粂子、中野英治主演

◎大日活時代劇部超特作
新版　鹽原多助　全十卷
美男…市川市丸、櫻木梅子　主演

ファストナショナル社作
喜劇　キートンの捨お舟　二卷
バスタキートン主演

劍士　河部五郎主演　尾上多見太郎　川上彌生
幕末亂鬪　日出る國の武士　全七卷
尊王倒幕ノ叫び起きて既に久し亂世の巷に火華散る物凄き慶應二年の秋の頃日出る國の武士は身命を賭して正義の國を護る

當ル十二日替り
日活 松竹　平館

嶄新輕快ナ
流行の粋
小供麥帽
麥一文字帽
婦人洋傘
男子用絹張傘
着心地ヨク實用的ナ
富士絹ワイシャツ
ゼハー
プリンー各種
に
鶴屋洋品店
平町四丁目
電話百四十番

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九

外科
赤心堂病院
外科、耳鼻咽喉科
內科、泌尿器科
X光線科
平町字田町
電話四七五